

休眠預金の流れ（イメージ）

指定活用団体

資金分配団体

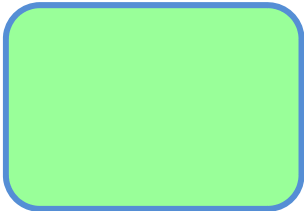
実行団体



資金的支援



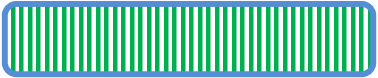
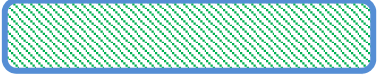
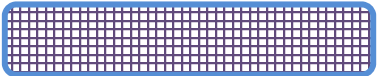
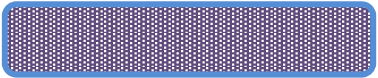
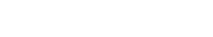
非資金的支援



⋮

資金的支援

非資金的支援



⋮

休眠預金の活用事例①

「ちくだいKIP」(北海道帯広市) : 次世代型ヘルスケア体操コミュニティの構築

○休眠預金からの助成金を充て行う事業

- ・ 帯広畜産大学体育館や帯広市総合体育館などの公共施設を利用した子ども体操教室を主軸とする、次世代型ヘルスケア体操コミュニティの構築。
- ・ 今後は、おとな筋力トレーニング教室で生成された「エビデンスの高い運動プログラム」と、「コミュニティ育成方法」をパッケージ化し、大手企業や地方自治体からの業務委託を受注するなど、ビジネスを展開。

子ども体操教室
(2020年6月、帯広市)



おとな筋トレ教室
(2020年11月、帯広市)



代表理事 山田、
帯畜大准教授 村田

休眠預金の活用事例②

「くるみー来未」（神奈川県川崎市）：発達障害等のある当事者・家族の居場所づくり

○休眠預金からの助成金を充て行う事業

- ・ 発達障害や知的障害のある当事者と家族の居場所とするため、築50年の空き家をDIY改修した「くるみのおうち」を本年2月に開所（川崎市中原区）。
- ・ この場所では、発達障害や知的障害のある当事者と家族を対象とした社会体験イベント（みんなでカレーを食べる会、お弁当づくり、プログラミング体験講座等）を月2回程度開催するほか、DV被害にあったり、行き場がなかったりする青年を一時保護するシェルターとしての機能も有する。

「くるみのおうち」で
開催されたカレーイベント
(2020年9月29日、川崎市)



「くるみのおうち」で
開催された珈琲焙煎講座
(2020年10月23日、川崎市)



黒川青少年野外活動センターで
開催されたドラム缶ピザづくり
(2020年9月20日、川崎市)

